



東京・神楽坂で始まるインバウンド客向け芸者体験、1月19日提供開始 オーバーツーリズムを避け、芸者文化を広げる新たな試み

～EDO KAGURA が料亭のバーで対話型の伝統文化体験を貸切制で実現～

株式会社 EDO KAGURA は、2026年1月19日より、東京・神楽坂の老舗料亭「幸本」の協力を得て、新たな芸者体験ツアーの提供を開始します。本ツアーは、一見さんお断りの料亭内にあるバー空間を貸切で活用し、通訳を介して神楽坂の芸者と対話を中心に、芸者文化に触れる体験型企画です。知的好奇心旺盛なインバウンド客を主な対象としています。京都や浅草など一部地域に観光客が集中するオーバーツーリズムが課題となる中、観光客にあまり知られていない神楽坂という花街を舞台に、芸者の収益源を多角化することで、伝統芸能の持続的な保全と活性化を目指します。

背景①：オーバーツーリズムの課題と「神楽坂」という選択

新ツアー「料亭バーツアー」は、観光客の集中を緩和する取り組みの一つです。一部の著名観光地では、オーバーツーリズムが深刻な課題となり、地域住民の生活や文化環境への影響が指摘されています。一方で、東京・神楽坂は、外国人旅行者の認知度が比較的低く、現在も日常生活と文化が共存する街並みが保たれています。

神楽坂は東京六花街の一角として、現在も 18 名の芸者が在籍し、日々稽古に励んでいます。近年は毎年、新人が芸者・半玉（見習い芸者）として加入しており、花街としての活気も保たれています。観光地化が進みすぎていないからこそ、「素の日本」「生活の延長線上にある文化」を体験できる場所であることが、神楽坂の大きな特長です。



＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

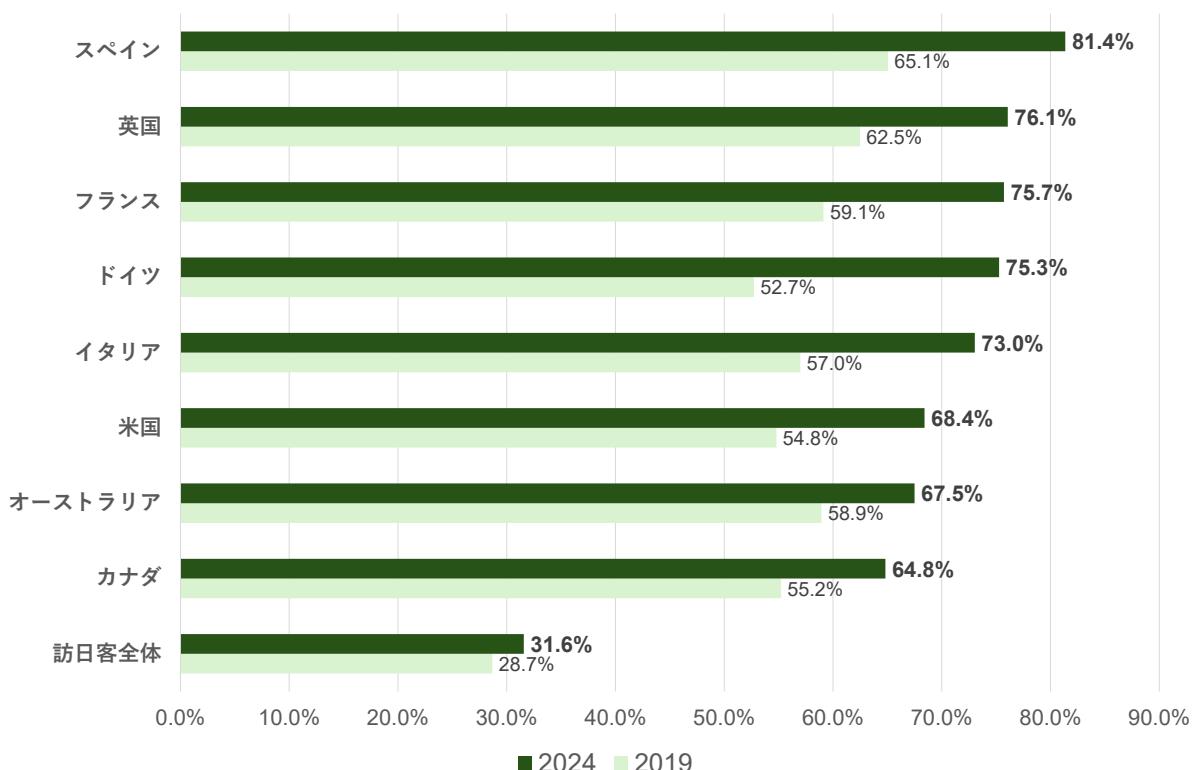
株式会社 EDO KAGURA MAIL : shinya.yamada@edokagura.com

背景②：「モノ消費」から「コト消費」へ——高まる文化体験需要

観光庁の「インバウンド消費動向調査」によると、日本旅行中に「日本の歴史・伝統文化体験」を行った訪日外国人旅行者の割合は年々増加しています。コロナ禍前の2019年と最新の2024年を比較すると、全体では28.7%から31.6%へと2.9ポイント上昇しました。

特に欧米豪市場での伸びは顕著で、2024年時点の実施率は、米国68.4%、カナダ64.8%、英国76.1%、ドイツ75.3%、フランス75.7%、イタリア73.0%、スペイン81.4%、オーストラリア67.5%と、多くの国で6~8割に達しています。また、コロナ前から10ポイント以上上昇している国も多く見られます（図表）。単なる観光名所巡りではなく、日本文化の背景を深く理解する体験への関心が高まっています。

訪日外国人旅行者の「歴史・伝統文化体験」の参加率が大きく上昇



新ツアーの特徴①：芸者文化への「入口」としての設計

芸者は、三味線、日本舞踊、唄などの高度な芸を身につけ、宴席で場を演出する日本の伝統的な職業であり、江戸時代から数百年続く伝統芸能です。「GEISHA」という言葉は世界的にも知られた日本文化の象徴です。しかし、実際には一見さんお断りの料亭でのお座敷遊びでしか会う機会がなく、日本人であっても芸者と直接会話をした経験を持つ人は限られています。

本ツアーでは、料亭での食事付きのお座敷遊びよりも参加しやすい価格帯で、芸者と直接対話できる機会を提供します。芸者文化の「入門編」として、初めての方でも安心して参加できる構成としています。

新ツアーの特徴②：芸者の収益多角化と文化の持続性

本ツアーは、通常のお座敷が終了した後の時間帯となる21時30分より実施します。これにより、従来の営業を妨げることなく、芸者にとっては追加的な収益機会を創出することが可能になります。

新たな施設を建設したり、花街のあり方を大きく変えたりするのではなく、料亭「幸本」にある既存の空間を活用することで、伝統芸能の持続可能性を高めるモデルを目指しています。

※開始時間は原則21時30分からとなります。

新ツアーの特徴③：対話を重視した少人数・貸切制

ツアーは完全貸切制で、芸者と一緒に唄を楽しんだり、飲み物を片手に会話をしたりと、参加者の関心に応じた柔軟な体験が可能です。多くのインバウンド客にとって、芸者に直接質問できる非常に貴重な機会となります。

商用利用でない範囲での写真撮影も可能とし、思い出として記録を残すことができます。料金や詳細は、株式会社 EDO KAGURA の公式サイトにて案内します。

代表コメント 株式会社 EDO KAGURA 代表取締役 山田真也

オーバーツーリズムが社会問題となる中、観光地を新たに増やすのではなく、すでにある文化を壊さずに、静かに開くことが重要だと考えています。神楽坂花街は東京六花街の一角であり、その始まりは 1788 年といわれる歴史ある花街です（出所：『神楽坂をよく知る教科書』）。その神楽坂では今も日常の延長線上に芸者文化が息づいています。一方で、娯楽の多様化とともに、最盛期には約 600 名いた神楽坂芸者は 18 名にまで減少しました（出所：『神楽坂をよく知る教科書』／一般社団法人東京神楽坂組合）。本ツアーは、こうした花街の空間や時間を無理に変えることなく、新たな収益源を創出するとともに、対話を通じて芸者文化への理解を深める場を設計しました。お座敷の後の時間にツアーを設定することにより、芸者にとっては追加的な収益機会となり、訪れる方にとっては日本文化を深く知る入口となります。文化と経済の両立を目指す一つの実装例として、この取り組みを育てていきたいと考えています。

ツアー概要「料亭バーツアー」

受付開始日：2026 年 1 月 19 日（月）

場所：神楽坂 料亭「幸本」内 カラオケバー

参加人数：2 名～最大 8 名（完全貸切）

対応言語：日本語／英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語（通訳同行）

対象：インバウンド客中心（日本人参加可）

写真撮影：可（商用利用不可）

料金：公式サイト参照

会社概要

会社名：株式会社 EDO KAGURA（旅行業 地域-8490 号）

代表者：山田真也

所在地：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1 丁目 31-16

設立：2021 年 12 月

事業内容：旅行業・旅行者向け衣服レンタル事業

URL：公式サイト：<https://www.edokagura.com>

オンラインストア：<https://www.kagurazaka-gayu.com>、<https://www.ninjakotan-travel.com>

株式会社 EDO KAGURA は、東京・神楽坂を中心に、日本の伝統文化を「体験」として国内外に発信するツアーを企画・運営しています。文化の担い手と旅行者をつなぎ、文化と経済の両立を目指した持続可能な観光モデルの構築に取り組んでいます。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社 EDO KAGURA、担当：山田真也

E-mail：info@edokagura.com